

(1) 天白汚泥処理場全景・増設消化槽側より処理場を望む。

名古屋市に於ける最近の下水工事

名古屋市水道部長 工學博士 池田篤三郎

1 天白汚泥処理場

位置・名古屋市南區鳴尾町天白川河口左岸
処理方法・堀留、熱田、露橋、傳馬町の各下水処理場より輸送せらるゝ活性及沈澱汚泥を消化及砂濾法に依り、一部は瓦斯化して其容積を減じ、他は砂床上に天日乾燥し、其乾燥物は剥脱して火力乾燥を爲し、篩別粉碎して肥料とす。然して火力乾燥には消化槽にて發生せるメタン瓦斯を使用す。
汚泥の成分・含水量は98%内外にして其乾燥物は有機物50~60%、無機物50~40%、無機物中の鹽酸不溶分は25~35%なり。又全窒素は約5.0%、全磷酸は2.0~3.0%を含有す、1日の剩餘活性汚泥量は1,160立方米にして流入下水量の約2%に相當す。

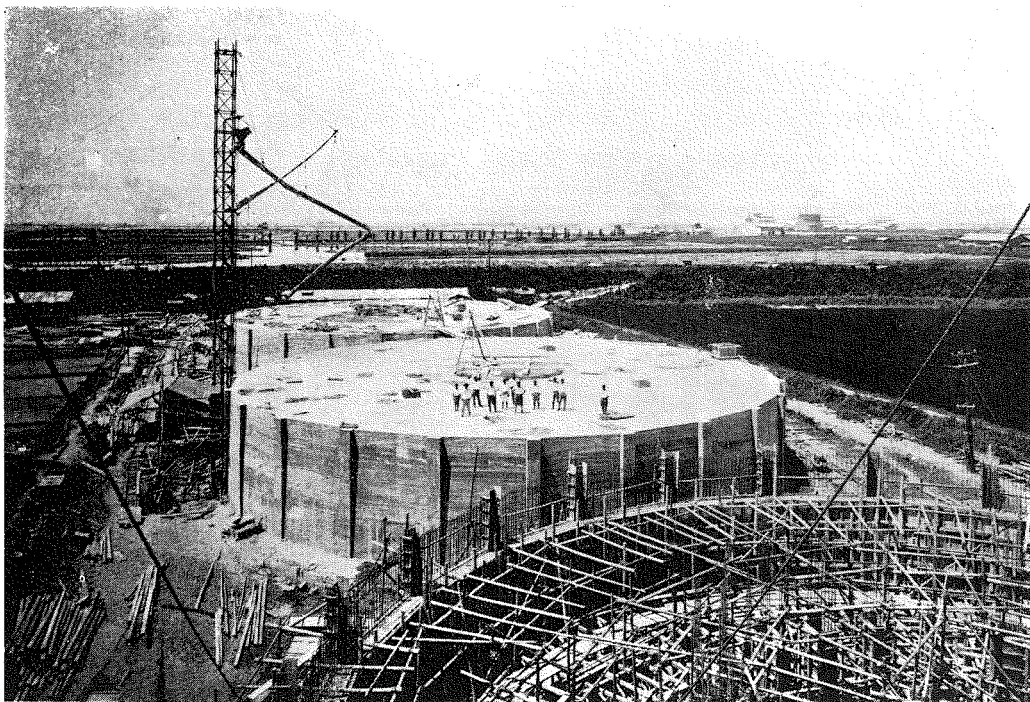
活性汚泥肥料・(1)成分 水文3.0%、全窒素35%~5.0%、磷酸1.5%~2.5%、有機物40~50%、加里0.5~0.7%。

(2)肥効 肥効は實驗の結果、硫安、大豆粕に匹敵し、有機物を多量に含有するを以て連年施用するも化學肥料の如き心配なく、又窒素肥料なる爲野菜、桑、露等に最も適當なり。

(3)量 一ヶ年の生産量は約1,600噸なり。

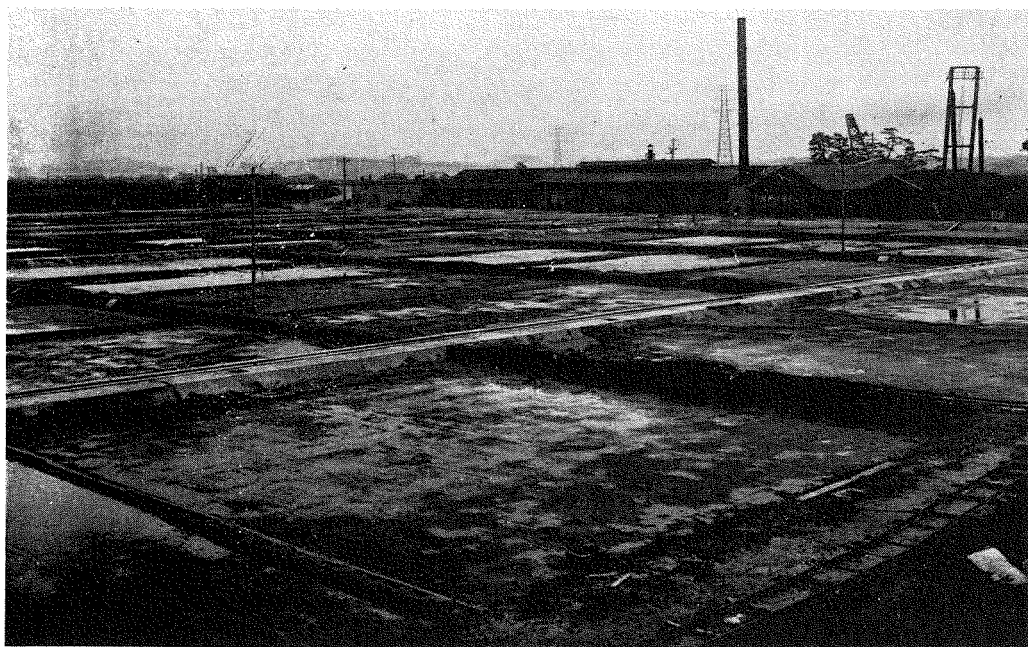
設備の大要・主なる設備は次の如し。

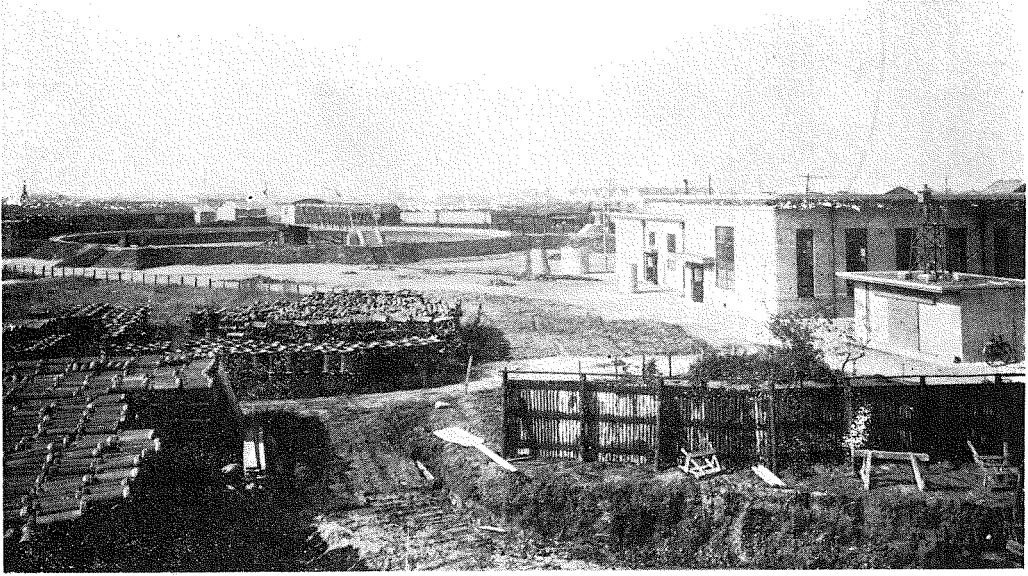
貯溜槽 1槽、容量1,000立方米。
 消化槽 4槽、全容量19,400立方米。
 瓦斯タンク 1槽、容量1,000立方米。
 砂糖 32床、1個の大き縦40米、横20米。



(2) 工事中の消化槽・増設消化槽側より処理場を望む。

(3) 砂床並に乾燥場その他。





(4) 露橋下水簡易處理場の全景。

(5) 露橋下水簡易處理場沈澱池。



乾燥機 2基。
篩別機 1基、圓筒型篩別機なり。
粉碎機 1基、デスイнтеグレーター型。

其他 臭氣止裝置、汚泥置場、撰別機、汚泥倉庫等あり。

2 露橋下水簡易處理場

位置・名古屋市中區日置町中川運河左岸

處理方法・本市西北部の下水を本處理場に導き唧筒にて揚水し、沈澱池にて浮遊物を40%~50%除去し鹽素殺菌を行ひ堀川に放水するものなり。

設備の大要・本處理場の設備は下の如し。

沈砂池……………1箇

唧筒室 (335.5平方米) ……1棟。

唧筒 130馬力軸流唧筒……1臺。

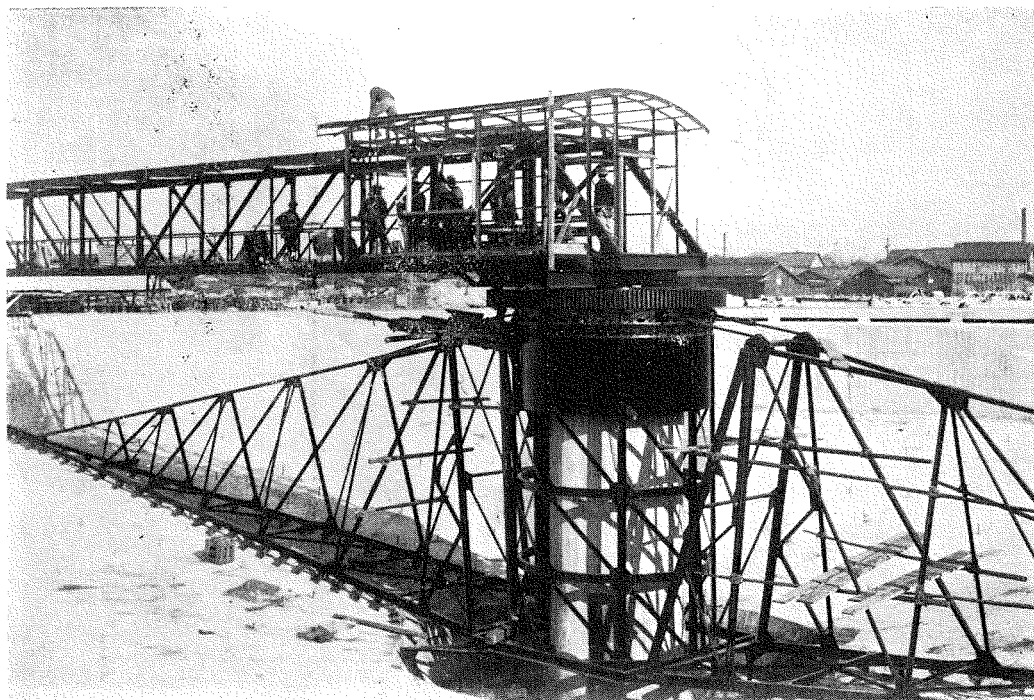
同 55馬力渦卷唧筒……3臺。

沈澱池 内徑50米聚集機付…1箇。

鹽素殺菌室……………1棟。

尙現在同所に高級處理場を築造中である。]

(6) 沈澱池の聚集機取付狀況。



3 傳馬町下水簡易處理場

位置・名古屋市南區熱田東町字文齋、新堀川の左岸なり。

處理方法・本市南東部の下水を本處理場に導き唧筒にて揚水し、其内雨水は新堀川に放流し、汚水は沈澱後鹽素殺菌を行ひ新堀川に放流す。

設備の大要・本處理場の設備は下の如し。

沈砂池……………1 箇

唧筒室……………1 棟

唧筒 250馬力軸流唧筒(雨水用)……2 基

150馬力 同 (雨水用)……1 基

100馬力渦卷唧筒……………1 基

50馬力 同 ……………1 基

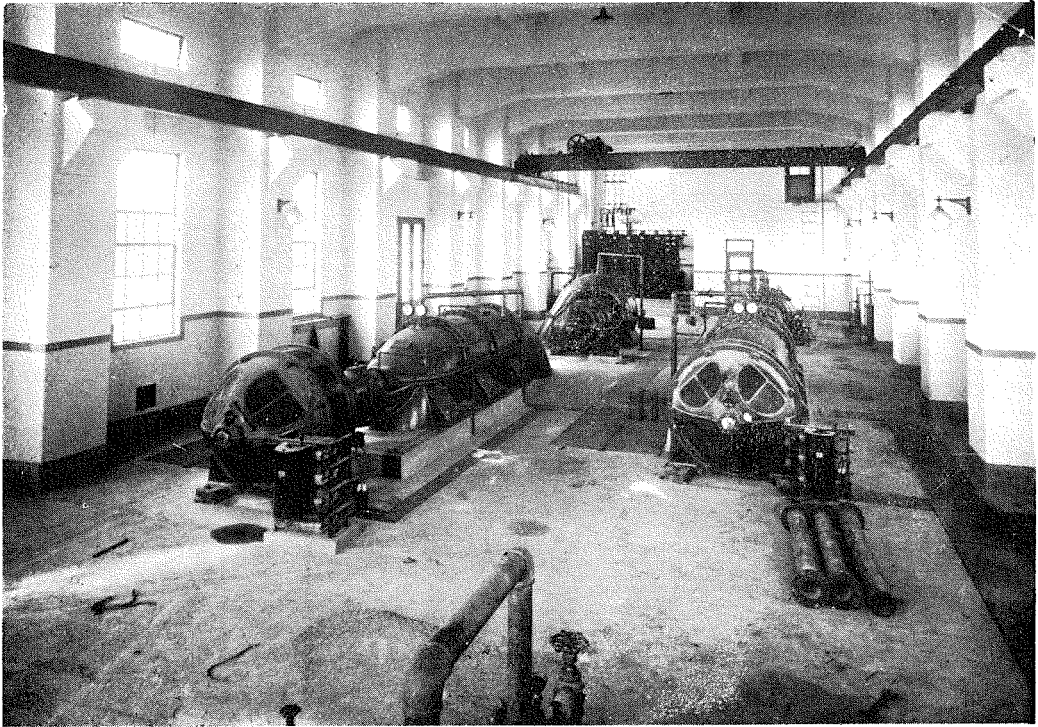
沈澱池、内徑25米聚集機付……………2 個

鹽素殺菌室……………1 棟

鹽素混合室……………1 槽

(7) 傳馬町下水簡易處理場全景。





(8) 傳馬町處理場の唧筒室。

(9) 沈澱池の汚泥聚集機取付状況。

